

令和元年度 行政評価の取組結果(建設局)

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	No.	SDGs 主要なゴール番号	SDGs ゴール番号	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標(目標・実績)				R1年度		H30年度	人件費(目安)		R1年度				R3年度予算要求に向けた施策の方向性	
							指標名等	現状値(基準値)	H30年度	R1年度	中期目標	予算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	金額(千円)	職位	人数	事業評価	評価の理由		局施策評価
I-1-(1)-⑥ 地域などと行政の連携・協働による子育て支援の推進	1	⑪	⑪	地域に役立つ公園づくり事業	みどり・公園整備課	身近な公園の再整備について、小学校区単位で開催するワークショップで地域住民の意見を聞き、地域ニーズを反映した公園整備を行うことで、これまで以上に利用される公園を目指す。計画段階から地域住民が参加することで公園への愛着を高め、地域活動など公園利用の活性化につなげる。計画策定後は、翌年から概ね2カ年で再整備を行う。	地域に役立つ公園づくり事業による整備公園数	—	目標 20 公園	20 公園	—	77,000	109,983	127,414	6,825	課長 0.05 人	順調	ワークショップの開催や計画に基づく公園整備とともに、概ね計画どおりに進んでおり「順調」と判断。	順調	【評価理由】 地域と行政が連携して魅力ある公園づくりを推進するため、整備の前にワークショップを行うなど、地域のニーズを反映させるための取り組みを推進している。 概ね計画どおり実施できており「順調」と判断。 【課題】 地域と行政が連携した魅力ある公園づくりを更に推進する必要がある。	今後も継続して地域と行政が連携し、魅力ある公園づくりに取り組む。
							実績 16 公園	12 公園	—					係長 0.10 人							
								達成率 80.0 %	60.0 %						職員 0.70 人						
I-3-(1)-② 教育関係施設の連携による人材育成	2	④	④	【施策評価のみ】 到津の森公園による学習プログラムの提供	公園管理課	【施策の内容】 小学生を対象とした、動物や自然とのふれあいを通して命の大切さや自然環境の保護の必要性を学ぶプログラムの提供	【施策の指標】 「市民環境力」を高め、環境保全に対する意識が高まった状態	—	目標 —	—	—	—	—	—	—	課長 — 人	順調	—	【評価理由】 遠足等で到津の森公園を訪れる小学校に対し、学習プログラムの提供を継続している。 環境保全意識向上の機会を提供できており「順調」と判断。	今後も継続して小学生への学習プログラムを提供する。	
								実績 —	—	—	—	—	—	—	係長 — 人						
								達成率 —	—						職員 — 人						

令和元年度 行政評価の取組結果(建設局)

【Plan】 計画 / 【Do】 実施															【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	No.	SDGs 主要な目標番号	SDGs 目標番号	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標(目標・実績)				R1年度		H30年度	人件費(目安)		事業評価	評価の理由	R1年度		R3年度予算要求に向けた施策の方向性		
							指標名等	現状値(基準値)	H30年度	R1年度	中期目標	予算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	金額(千円)			職位	人数		局施策評価	局施策評価の理由及び課題
II-1-(4)-④ 総合的な災害対策の推進	3	⑪	⑪	河川改修事業の推進	水環境課	近年、ゲリラ豪雨や都市化の進展に起因する浸水被害が増加している。浸水被害を抑制するため、治水事業の根幹となる河川改修を推進する。	浸水被害の低減	—	目標	—	単年度目標設定なし	河川毎に計画している降雨(1時間で50~70mm程度)に対応できる状態(R15年度)	2,499,700	2,663,312	2,603,204	63,250	課長	0.50	人	順調	治水対策の目標(河川整備率)に向け、河川の改修事業が予定どおり進んでいることから「順調」と判断。	
							実績	—	—	—					係長	2.00	人					
							達成率	—	—	—					職員	5.00	人					
	4	⑪	⑪	巨過地区まちづくりに伴う河川整備事業	神嶽川巨過地区整備室	長年市民に親しまれている巨過市場の魅力向上と、市場に隣接する神嶽川の治水安全度の向上のため、河川事業と一体となった巨過地区の再整備を推進する。	神嶽川(巨過地区)の治水安全度向上	—	目標	—	単年度目標設定なし	巨過地区において概ね50年に一度発生する降雨にも対応できる状態(R13年度)	80,000	100,000	201,517	30,750	課長	0.50	人	順調	地元関係者と協議を進めながら、令和2年度の巨過地区土地区画整理事業の事業認可に向けた調査、検討を実施した。また、河川整備の工事着手に向けた取り組みが着実に進んでいることから「順調」と判断。	
						実績	—	—	—					係長	1.00	人						
						達成率	—	—	—					職員	2.00	人						
	5	⑪	⑪	豪雨災害から市民を守る緊急対策事業	水環境課	平成30年7月豪雨により被害が発生した河川の改修、河川情報システムの強化、護岸の長寿命化を行い、市民が安全・安心を感じるまちづくりを推進する。	浸水被害の低減	—	目標	—	単年度目標設定なし	H30年豪雨で被災した河川の浸水対策が完了している状態(R5年度)	520,000	325,476	—	19,300	課長	0.20	人	順調	平成30年7月豪雨による災害の短期対策が全て完了するとともに、河川情報システムの強化に向けた準備なども予定どおり進んでいることから「順調」と判断。	
						実績	—	—	—					係長	0.20	人						
						達成率	—	—	—					職員	2.00	人						
	6	⑪	⑪	災害関連地域防災がけ崩れ対策事業	河川整備課	2018年7月豪雨に伴い発生した自然がけの崩壊箇所において、がけ崩れ防止対策工事を行い次期降雨等による再度災害を防止することで人命を保護し、市民生活の安定を図る。	対象箇所の再度災害防止	—	目標	—	—	再度災害を防止することにより、人命保護と市民生活の安定を確保できる状態	220,000	273,757	14,942	14,800	課長	0.20	人	順調	令和元年度末までに7箇所では概ね工事が完了した。また、他の箇所でも順次工事を進めており、令和2年11月までに工事が全て完了する予定であるため「順調」と判断。	
						実績	—	—	—					係長	0.50	人						
						達成率	—	—	—					職員	1.00	人						

【評価理由】
頻発する局地的豪雨などによる浸水被害を抑制するため、計画的に河川の整備を推進している。概ね予定通りに事業を推進できており「順調」と判断。

【課題】
計画的に河川整備を進める必要がある。

今後も継続して治水事業の根幹となる河川整備を推進する。

令和元年度 行政評価の取組結果(建設局)

【Plan】 計画 / 【Do】 実施															【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	SDGs 主な ゴール 番号	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標(目標・実績)				R1年度		H30年度	人件費(目安)			事業 評価	評価の理由	R1年度		R3年度予算要求に向けた 施策の方向性		
							指標名等	現状値 (基準値)	H30年度	R1年度	中期 目標	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額 (千円)	金額 (千円)	職位			人数	局施策 評価		局施策評価の理由及び課題	
II-2-(3)- ④ 個人の健康づくりを支える環境の整備	7	③	⑩	健康づくりを支援する公園等整備事業	緑政課	公園に高齢者の健康増進に配慮した健康遊具を設置し、運動教室を開催して、利用者に使い方を説明する。 継続的にこの健康遊具を利用することにより、高齢者の体力増進に繋げる。	高齢者に配慮した健康遊具の設置公園数	累計 24公園 (R1年度)	目標	1 公園	1 公園	累計 30公園 (R5年度)	12,000	14,190	20,881	3,650	課長	0.10 人	順調	計画どおりの公園数が整備出来ており「順調」と判断。	順調	【評価理由】 高齢者の健康づくりに資する、身近な公園における健康遊具の設置を計画通りに進めることが出来ており「順調」と判断。 【課題】 高齢者の健康づくりを更に推進するため、環境整備を更に推進する必要がある。	今後も継続して高齢者の健康づくりに資する環境整備に取り組む。
									実績	1 公園	1 公園						職員	0.20 人					
									達成率	100.0 %	100.0 %												
III-1-(1)- ③ まち美化活動の拡充	8	⑪	⑪	ボランティアネットワークの推進(道路サポーター)	道路計画課	市が維持及び管理する道路において、道路清掃・美化などのボランティア活動を行う地域の団体を対象に、清掃用具や花苗の支給などにより支援する。	道路サポーター加入団体数	—	目標	220 団体	230 団体	250団体 (R5年度)	17,029	14,825	14,168	9,400	課長	0.05 人	順調	加入団体数が目標を達成できており「順調」と判断。	順調	【評価理由】 高齢化等の理由により解散する団体もある一方で、新たに結成された団体もあり、団体数としては概ね目標を達成できており「順調」と判断。 【課題】 団体の増加・維持に向けた取り組みを推進する必要がある。	今後も既存団体の支援や団体数の増加・維持に取り組む。
									実績	232 団体	233 団体						係長	0.17 人					
									達成率	105.5 %	101.3 %												
	9	⑪	⑪	ボランティアネットワークの推進(公園愛護会)	公園管理課	10名程度の地域住民で組織されるボランティア団体で、公園の美化活動・公園施設の点検や禁止行為の連絡・公園利用者のマナーづくり・市民花壇づくりなどを行い、活動面積に応じて活動費を助成している。	公園愛護会の結成数	—	目標	1,160 団体	1,160 団体	1,160団体 (毎年度)	45,919	45,096	45,304	18,135	課長	0.24 人	順調	会員の減少や高齢化により解散する団体もあるものの、全体としては目標の団体数を達成できており「順調」と判断。	順調	【評価理由】 高齢化等の理由により解散する団体もある一方で、新たに結成された団体もあり、団体数としては概ね目標を達成できており「順調」と判断。 【課題】 団体の増加・維持に向けた取り組みを推進する必要がある。	今後も既存団体の支援や団体数の増加・維持に取り組む。
									実績	1,182 団体	1,184 団体						係長	0.45 人					
									達成率	101.9 %	102.1 %						職員	1.45 人					
	10	⑪	⑪	ボランティアネットワークの推進(河川愛護団体)	水環境課	地域の住民で構成する河川愛護団体に清掃道具購入の費用等となる補助金を交付することにより、美化活動を広げる。 また、美化活動に参加することにより、地域の河川を身近に感じ、自分たちの川として愛着を持つような啓発活動へとつなげる。	河川愛護団体数	—	目標	72 団体	73 団体	73団体 (R2年度)	2,440	2,400	2,280	440	課長	0.01 人	順調	河川のアプローチ活動に取り組む団体が新たに結成されるとともに、既存の加入団体も年間を通じて活発に活動が進められていることから「順調」と判断。	順調	【評価理由】 高齢化等の理由により解散する団体もある一方で、新たに結成された団体もあり、団体数としては概ね目標を達成できており「順調」と判断。 【課題】 団体の増加・維持に向けた取り組みを推進する必要がある。	今後も既存団体の支援や団体数の増加・維持に取り組む。
									実績	65 団体	69 団体						係長	0.01 人					
									達成率	90.3 %	94.5 %						職員	0.03 人					

令和元年度 行政評価の取組結果(建設局)

【Plan】 計画 / 【Do】 実施															【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	SDGs 主たる目標番号	SDGs 目標番号	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標(目標・実績)				R1年度		H30年度	人件費(目安)		事業評価	評価の理由	R1年度		R3年度予算要求に向けた施策の方向性			
							指標名等	現状値(基準値)	H30年度	R1年度	中期目標	予算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	金額(千円)			職位	人数		局施策評価	局施策評価の理由及び課題	
Ⅲ-1-(2)-① 魅力ある生活空間づくり	11	⑪	⑪	「花やみどり」による彩りと潤いのあるまちづくり	緑政課	都市景観の向上と潤いのある街づくりを目指し、花壇(公共花壇)の整備を行うと共に、市民花壇やスポンサー花壇、うえるっちゃ!花壇といった、市民ボランティアや企業・団体と一体となって美しく快適なまちづくりを推進する。	市民花壇活動団体数	570団体(H27年度)	目標 610 団体	619 団体	実績 574 団体	566 団体	628団体(R2年度)	56,180	49,057	46,740	23,150	課長 0.10 人	順調	市民花壇活動団体数は、目標には達していないものの90%に達しており「順調」と判断。	順調	【評価理由】 魅力ある生活空間をつくるため、街かどの花壇整備や地域のニーズを反映した公園づくりを推進している。 市民花壇活動団体数は減少傾向にあるものの、講座の実施等、市民ボランティア等との協働は着実に推進出来ている。 また、地域のニーズを反映した公園整備についても概ね計画に沿って進捗しており「順調」と判断。 【課題】 高齢化が進む中で市民花壇活動団体数の増加・維持を図る必要がある。	今後も継続して、街かどの花壇整備や地域ニーズを反映した公園整備など、魅力ある生活空間づくりに取り組む。
	12	⑪	⑪	地域に役立つ公園づくり事業	みどり・公園整備課	身近な公園の再整備について、小学校区単位で開催するワークショップで地域住民の意見を聞き、地域ニーズを反映した公園整備を行うことで、これまで以上に利用される公園を目指す。計画段階から地域住民が参加することで公園への愛着を高め、地域活動など公園利用の活性化につなげる。計画策定後は、翌年から概ね2カ年で再整備を行う。	地域に役立つ公園づくり事業による整備公園数	—	目標 20 公園	20 公園	実績 16 公園	12 公園	—	77,000	109,983	127,414	6,825	課長 0.05 人					
Ⅲ-1-(3)-② 安心して通行できる身近な道路の整備	13	⑪	⑪	バリアフリーのまちづくり	道路計画課	高齢者や障害者など、誰もが安全で快適に通行できるように、バリアフリーのまちづくりを進める。具体的には、歩道の新設や拡幅、段差解消、視覚障害者誘導用ブロックの設置などのバリアフリー化を行う。	主要駅周辺地区の主要経路の整備率	—	目標 95 %	95 %	実績 92 %	93 %	100%(R2年度)	707,695	885,304	1,040,444	26,150	課長 0.10 人	順調	主要駅周辺のバリアフリー化については、街路事業等で整備中の路線など、用地買収を含むものが残っており、短期的な対策が困難となっている。 しかしながら、その他路線における歩道整備を積極的に実施した結果、活動指標である歩道整備延長キロ数は目標を上回ったため「順調」と判断。	順調	【評価理由】 関係団体と協議しながら、通学路の改善要望対応や、子どもから高齢者まで誰もが安心して通行できる環境整備を概ね計画通りに推進出来ており「順調」と判断。 【課題】 バリアフリー道路等のハード面の整備を推進するとともに、取り組みの周知等のソフト面の施策の充実も図る必要がある。	今後も子どもから高齢者まで誰もが安全で快適に通行できる身近な道路として環境の整備を推進する。
	14	⑪	⑪	通学路の安全対策	道路計画課	登下校中の児童が交通事故に巻き込まれず、安全に安心して通学できる環境を整えるため、教育委員会や学校関係者、警察と一体となって、さらなる通学路の安全対策を推進する。	通学路の危険箇所における対策完了箇所数	—	目標 —	—	実績 93 箇所	96 箇所	—	926,195	1,122,978	851,539	26,150	課長 0.10 人					

令和元年度 行政評価の取組結果(建設局)

【Plan】 計画 / 【Do】 実施															【Check】 評価 / 【Action】 改善											
施策番号・施策名	No.	SDGs 主な ゴール 番号	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標(目標・実績)				R1年度		H30年度	人件費(目安)			事業 評価	評価の理由	局施策 評価	局施策評価の理由及び課題	R3年度予算要求に向けた 施策の方向性					
							指標名等	現状値 (基準値)	H30年度	R1年度	中期 目標	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額 (千円)	金額 (千円)	職位						人数				
V-1-(2)- ②文化・交流、居住機能を重視した副都心づくり	19	⑪	⑪	小倉駅・黒崎駅前の賑わいづくりの推進	道路計画課	北九州市の玄関口となる小倉都心部と黒崎副都心部の駅前において、魅力的な都市環境の創造につながる道路環境整備を行い、まちの賑わいを推進する。	黒崎駅南北自由通路利用者数	目標	6,500人/日	6,500人/日	6,500人/日 (R1年度)	211,900	584,538	612,967	61,500	課長	1.00人	係長	2.00人	職員	4.00人	順調	黒崎駅南北自由通路の整備が、完了しており「順調」と判断。	順調	【評価理由】 黒崎副都心部の駅前における、魅力的な都市環境の創造につながる道路環境整備を概ね計画通りに推進できており「順調」と判断。 【課題】 取り組みを継続する必要がある。	今後とも計画的に賑わいづくり推進のための事業を進める。
								実績	工事中	—																
								達成率	—	—																
V-2-(2)- ①広域物流ネットワークの強化	20	⑪	⑪	自動車専用道路ネットワークの整備	道路計画課	港湾・空港・鉄道ターミナルなど、拠点間を結ぶ交通・物流ネットワークの構築や地域間の連携・交流促進を図るため、環状放射型自動車専用道路ネットワークの整備を推進する。	朝ピーク時の響灘地区～東田地区間の所要時間	目標	—	—	13分 (R9年度)	5,456,666	2,689,620	2,224,835	69,000	課長	1.00人	係長	2.00人	職員	5.00人	順調	戸畑枝光線の橋梁工事等が概ね計画通りに進捗しており「順調」と判断。	順調	【評価理由】 広域物流ネットワークの強化に向けた交通網の整備を実施している。 戸畑枝光線をはじめとした主要な道路の整備を概ね計画通りに推進出来ており「順調」と判断。 【課題】 取り組みを継続する必要がある。	今後も広域・物流ネットワーク強化のため、道路整備を計画的に進める。
								実績	—	—																
								達成率	—	—																
	21	⑪	⑪	主要な道路の整備(恒見朽網線など)	道路計画課	主要な街路・道路事業を重点的かつ速やかに整備することで、市内の渋滞対策、物流ネットワークの強化、地域間の連携・交流促進を図る。	新門司地区～北九州空港間の所要時間	目標	—	—	28分 (R7年度)	8,007,858	8,254,026	8,378,452	217,250	課長	3.00人	係長	6.50人	職員	15.70人	順調	主要路線(恒見朽網線)の道路整備が、概ね計画通りに進捗しており「順調」と判断。	順調	【評価理由】 広域物流ネットワークの強化に向けた交通網の整備を実施している。 戸畑枝光線をはじめとした主要な道路の整備を概ね計画通りに推進出来ており「順調」と判断。 【課題】 取り組みを継続する必要がある。	今後も広域・物流ネットワーク強化のため、道路整備を計画的に進める。
								実績	—	—																
								達成率	—	—																
V-2-(2)- ②市民の交通利便性の向上と産業活動の支援	22	⑪	⑪	自動車専用道路ネットワークの整備	道路計画課	港湾・空港・鉄道ターミナルなど、拠点間を結ぶ交通・物流ネットワークの構築や地域間の連携・交流促進を図るため、環状放射型自動車専用道路ネットワークの整備を推進する。	朝ピーク時の響灘地区～東田地区間の所要時間	目標	—	—	13分 (R9年度)	5,456,666	2,689,620	2,224,835	69,000	課長	1.00人	係長	2.00人	職員	5.00人	順調	戸畑枝光線の橋梁工事等が概ね計画通りに進捗しており「順調」と判断。	順調	【評価理由】 市民の交通利便性と産業活動の支援を実施している。 戸畑枝光線をはじめとした主要な道路の整備を概ね計画通りに推進出来ており「順調」と判断。 【課題】 取り組みを継続する必要がある。	今後も市民の交通利便性と産業活動の支援のための道路整備を計画的に進める。
								実績	—	—																
								達成率	—	—																
	23	⑪	⑪	主要な道路の整備(恒見朽網線など)	道路計画課	主要な街路・道路事業を重点的かつ速やかに整備することで、市内の渋滞対策、物流ネットワークの強化、地域間の連携・交流促進を図る。	新門司地区～北九州空港間の所要時間	目標	—	—	28分 (R7年度)	8,007,858	8,254,026	8,378,452	217,250	課長	3.00人	係長	6.50人	職員	15.70人	順調	主要路線(恒見朽網線)の道路整備が、概ね計画通りに進捗しており「順調」と判断。	順調	【評価理由】 市民の交通利便性と産業活動の支援を実施している。 戸畑枝光線をはじめとした主要な道路の整備を概ね計画通りに推進出来ており「順調」と判断。 【課題】 取り組みを継続する必要がある。	今後も市民の交通利便性と産業活動の支援のための道路整備を計画的に進める。
								実績	—	—																
								達成率	—	—																

令和元年度 行政評価の取組結果(建設局)

【Plan】 計画 / 【Do】 実施															【Check】 評価 / 【Action】 改善					
施策番号・施策名	No.	SDGs 主要なゴール番号	SDGs ゴール番号	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標(目標・実績)				R1年度		H30年度	人件費(目安)		事業評価	評価の理由	局施策評価	局施策評価の理由及び課題	R3年度予算要求に向けた施策の方向性
							指標名等	現状値(基準値)	H30年度	R1年度	中期目標	予算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	金額(千円)					
V-3-(1)-② 都市基盤・施設の適正な維持管理	24	⑪	⑪	橋梁・トンネル・モノレールの長寿命化への計画的な取り組み	道路維持課	市内には、約2,000の橋梁と39本のトンネル、総延長約9kmのモノレールがあり、高齢化・老朽化が進行していることから、予防保全の観点での長寿命化事業に取り組んでいる。 事業の実施にあたっては、施設毎に個別施設計画を策定し、5年に1回の定期点検に基づく計画的な維持管理を実施することで、市民の安全・安心を確保するとともに、トータルコストの縮減や予算の平準化を図る。 ・「北九州市橋梁長寿命化修繕計画」(H22.3策定、H29.3改定) ・「北九州市トンネル長寿命化修繕計画」(H25.2策定、H29.3改定) ・「北九州モノレール長寿命化計画」(H23.6策定)	主要橋梁及びトンネルの健全性向上による市民の安全・安心の確保	目標	—	—	全主要橋梁及びトンネルの健全性Ⅱ以上(R5年度)	3,897,000	2,800,572	2,108,633	157,525	課長	1.85	順調	橋梁、トンネルのリニューアル及びモノレールの長寿命化に向けた取り組みは、概ね計画通りに進捗しており「順調」と判断。	R3年度予算要求に向けた施策の方向性
						実績	—	—						係長	3.50					
						達成率	—	—						職員	13.50					
	25	⑪	⑪	若戸大橋・若戸トンネル維持管理事業	道路維持課	若戸大橋と若戸トンネルは、若松区と戸畑区とを結ぶ本市の重要な路線である。 日常の道路巡回や、有事発生時の緊急対応など適切な維持管理を実施することで、市民が安全に安心して通行できる環境を確保する。	若戸大橋と若戸トンネルの適切な維持管理による、市民の安全・安心の確保	目標	—	—	安全な道路環境の確保(毎年度)	100,000	100,000	—	22,000	課長	0.50	順調	適切な維持管理の実施を行い、市民が安全に安心して通行できる環境を確保できたため「順調」と判断。 【課題】 引き続き計画的に長寿命化を実施するとともに、安全な道路環境を確保をする必要がある。	今後も引き続き計画に従って長寿命化を推進するとともに、安全な道路環境を確保する。
					実績	—	—						係長	0.50						
					達成率	—	—						職員	1.50						
	26	⑪	⑪	若戸大橋・若戸トンネル長寿命化事業	道路維持課	若戸大橋は吊橋構造、若戸トンネルは沈埋トンネル構造といった複雑な構造を有している。 このような構造物に対し、予防保全型の維持管理を実施し、維持管理費のトータルコストの縮減と予算の平準化を図るため、長寿命化修繕計画を策定するとともに、長期的視点に立った事業を推進する。	維持管理費のトータルコストの縮減や予算の平準化および予防保全型の維持管理	目標	—	—	長寿命化修繕計画の策定(R2年度)	250,000	166,488	—	22,000	課長	0.50	順調	定期的な点検およびその結果に基づく補修工事を行うなど、予防保全型の維持管理が実施できたため「順調」と判断。	R3年度予算要求に向けた施策の方向性
					実績	—	—						係長	0.50						
					達成率	—	—						職員	1.50						

令和元年度 行政評価の取組結果(建設局)

【Plan】 計画 / 【Do】 実施															【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	SDGs 主たる 番号	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標(目標・実績)				R1年度		H30年度	人件費(目安)			事業 評価	評価の理由	局施策 評価	局施策評価の理由及び課題	R3年度予算要求に向けた 施策の方向性
							指標名等	現状値 (基準値)	H30年度	R1年度	中期 目標	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額 (千円)	金額 (千円)	職位					
VI-1-(2)- ② あらゆる 主体による 環境政策への 参加の推進	27	④	④	長野緑地を利用した 農業体験教室	公園 管理課	計画地内に複数の活動 エリアを設け、一年を通 してそれぞれのエリアで 有機農業栽培管理や花作 りを体験する市民参加に よる農地等の整備、管理 等に取り組む。また、子 どもたちが自然の中で遊 び、学ぶ場を提供した り、収穫物を使用したイ ベントなど、市民の参加 を拡大するイベント等を 開催する。	農業体験教室への参 加者数	—	目標 2,000 人	2,000 人	2,000人 (毎年度)	2,600	2,699	2,674	1,120	課長 0.03 人	順調	農業体験教室の実施回数は41 回と目標の50回には満たなかつ たものの、参加者数は概ね目標 を達成しており「順調」と判 断。	順調	【評価理由】 農業体験を通じた環境政策へ の市民参加が図られている。 概ね目標どおり、多くの市民 参加があり「順調」と判断。 【課題】 今後も継続して実施する必要 がある。	今後も継続して市民の環境政 策への参加を促す。
								実績 2,070 人	1,944 人					係長 0.04 人							
								達成率 103.5 %	97.2 %					職員 0.05 人							
VI-2-(1)- ③ 総合的な 緑化・森林 整備の実施	28	⑪	⑪	「花やみどり」に よる彩りと潤い のあるまちづくり	緑政 課	都市景観の向上と潤い のある街づくりを目指 し、花壇(公共花壇)の 整備を行うと共に、市民 花壇やスポンサー花壇、 うるっちゃん!花壇と いった、市民ボラン ティアや企業・団体と一体と なって美しく快適なまち づくりを推進する。	市民花壇活動団体数	570団体 (H27年度)	目標 610 団体	619 団体	628団体 (R2年度)	56,180	49,057	46,740	23,150	課長 0.10 人	順調	市民花壇活動団体数は、目標 には達していないものの90%に達 しており「順調」と判断。	順調	【評価理由】 市民花壇活動団体数は減少傾 向にあるものの、目標の90%を超 える多くの市民団体に参画いた たき、協働が着実に推進できて いるため、「順調」と判断。 【課題】 今後も市民花壇活動団体数の 増加・維持を図る必要がある。	今後も継続して市民との協働 や街かどの整備など、総合的な 緑化を推進する。
								実績 574 団体	566 団体					係長 0.70 人							
								達成率 94.1 %	91.4 %					職員 2.00 人							
VI-4-(1)- ③ 市民と自然との ふれあいの 推進	29	⑪	⑪	「花やみどり」に よる彩りと潤い のあるまちづくり	緑政 課	都市景観の向上と潤い のある街づくりを目指 し、花壇(公共花壇)の 整備を行うと共に、市民 花壇やスポンサー花壇、 うるっちゃん!花壇と いった、市民ボラン ティアや企業・団体と一体と なって美しく快適なまち づくりを推進する。	市民花壇活動団体数	570団体 (H27年度)	目標 610 団体	619 団体	628団体 (R2年度)	56,180	49,057	46,740	23,150	課長 0.10 人	順調	市民花壇活動団体数は、目標 には達していないものの90%に達 しており「順調」と判断。	順調	【評価理由】 市民花壇活動団体数は減少傾 向にあるものの、市民ボラン ティアとの協働は着実に推進出 来ている。 また、農業体験教室も目標の 90%以上の市民参加を得られてお り「順調」と判断。 【課題】 今後も市民花壇活動団体数の 増加・維持を図る必要がある。	今後も継続して、公共の花壇 整備や農業体験教室など、市民 が自然に触れ合う場や機会の提 供を推進する。
								実績 574 団体	566 団体					係長 0.70 人							
								達成率 94.1 %	91.4 %					職員 2.00 人							
30	④	④	④	長野緑地を利用した 農業体験教室	公園 管理課	計画地内に複数の活動 エリアを設け、一年を通 してそれぞれのエリアで 有機農業栽培管理や花作 りを体験する市民参加に よる農地等の整備、管理 等に取り組む。また、子 どもたちが自然の中で遊 び、学ぶ場を提供した り、収穫物を使用したイ ベントなど、市民の参加 を拡大するイベント等を 開催する。	農業体験教室への参 加者数	—	目標 2,000 人	2,000 人	2,000人 (毎年度)	2,600	2,699	2,674	1,120	課長 0.03 人	順調	農業体験教室の実施回数は41 回と目標の50回には満たなかつ たものの、参加者数は概ね目標 を達成しており「順調」と判 断。	順調	【評価理由】 農業体験を通じた環境政策へ の市民参加が図られている。 概ね目標どおり、多くの市民 参加があり「順調」と判断。 【課題】 今後も継続して実施する必要 がある。	今後も継続して市民の環境政 策への参加を促す。
								実績 2,070 人	1,944 人					係長 0.04 人							
								達成率 103.5 %	97.2 %					職員 0.05 人							
31	⑪	⑪	⑪	【施策評価のみ】 東九州自動車道建 設促進協議会の要 望活動	道路 計画課	【施策の内容】 東九州自動車道建設促 進協議会の要望活動	【施策の指標】 東九州自動車道の建 設促進	—	目標 —	—	東九州自 動車道の 建設促進	—	—	—	—	課長 — 人	順調	—	順調	【評価理由】 東九州自動車道沿線の自治体 (福岡県・大分県・宮崎県・鹿 児島県)と協力しながら、国に 対して整備活動の要望を行って おり「順調」と判断。	今後も沿線自治体と連携・協 力して要望活動に取り組む。
								実績 —	—						係長 — 人						
								達成率 —	—						職員 — 人						